



文例集

sample collection

contents

- ①招待状文例集
- ②各種付箋(フセン)サンプル
- ③時候のあいさつ(季語)
- ④結婚報告のハガキ
- ⑤内祝いに添えるメッセージ

ご招待状

結婚式・披露宴への招待状は、大凡3ヶ月前から準備して2ヶ月前には発送。
招待状は和風・洋風など結婚式の雰囲気にあったペーパーを選び、当日の様子が想像できるような文面にしましょう。
また受取人からの問い合わせのために、住所は必ず明記しましょう。
式が近づくと会場側に「新郎〇〇様の連絡先を教えてください」「出席できなくなったのでお詫びを言いたい」等々の理由で電話がかかってくる。
住所や電話番号が以前と変わってしまい、わからなくなった場合に多く起こります。
電話番号等は個人情報の問題もあり会場側はご本人の許可なくお応えできないことを知っておきましょう。

◆招待状に必要な項目

- ①結婚する本人のお名前
- ②挙式と披露宴の日時・曜日
- ③会場の名称と所在地
- ④媒酌人の名前(媒酌人を立てる場合)
- ⑤出欠お返事の締めきり日
- ⑥会場までの道順や電話番号(別紙で準備することが多い)
- ⑦その他連絡事項(駐車場の有無、服装は「平服で」など)

文例

①親御様用

結婚式では形式が重視されます。

親御様のお名前で招待状を出す場合は、招待者にふさわしいかどうかで決めるようになってきています。親族が多い、新郎家又は新婦家が会社を経営しており、その関係者を呼ぶ場合は、ご本人より親御様の名前で出した方が出席者にとって分かりやすいなど、ご招待状を受け取る側への配慮がとても重要です。

②連名用

現在では親御様と新郎新婦の連名で招待状を送るというスタイルもあります。

親族が中心の結婚式や、仕事関係のゲストを多くお招きするようなケースでは親御様と連名にすることをお勧めいたします。連名にすることで親御様と揃っておもてなしの気持ちを伝えられます。

③本人用

ゲストが新郎新婦の友人中心の場合や、両家親御様にもゲストとして楽しんで欲しいと考える場合にお勧めです。近年では新郎新婦名義の招待状が増えています。

失礼にあたることはありませんが、親御様名義の招待状よりも親しみやすく柔らかい印象を与えます。

④その他

おふたりの結婚式のスタイルにあわせてご利用いただける文章サンプルをご準備しました。

親御様用

媒酌人あり

* 親御様のお名前を出す文章です

謹啓 ○○の候 皆様にはますますご清祥のことと
お慶び申し上げます
このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により
○○長男 ○○と○○長女 ○○が
婚約し結婚式を挙げることになりました
つきましては 幾久しくご懇情賜りたく
披露かたがた小宴をご用意いたしましたので
ご多用中まことに恐縮ではございますが
ご臨席いただきたく ご案内申し上げます 敬具
○○年○○月吉日
○○○○
○○○○

日時 ○○年○○月○○日 (○曜日)午後2時より(開宴)
場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

媒酌人なし

* 親御様のお名前を出す文章です

○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます
このたび ○○長男 ○○と○○長女 ○○が
結婚式を挙げることになりました
つきましては 幾久しくご懇情をいただきたく
ささやかですが 披露をかねて
小宴をご用意いたしました
ご多用のところまことに恐縮ではございますが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます
○○年○○月吉日
○○○○
○○○○

日時 ○○年○○月○○日 (○曜日)午後2時より(開宴)
場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

連名 親御様主体用

媒酌人あり

親御様とご本人のお名前を出す文章です

* 差出人は親御様になります

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび○○○○様ご夫妻のご媒酌により

○○ 長男 ○○と ○○長女 ○○との

婚約相整い結婚式を挙げることになりました

つきましては 幾久しく ご懇情賜りたく

披露かたがた小宴をご用意いたしましたので

ご多用中誠に恐縮ではございますが

ご臨席いただきたく ご案内申し上げます 敬具

○○年○○月吉日

○○○○ * 親御様の名前(郎側)

○○○○ * 親御様の名前(婦側)

私たちふたりは結婚することとなりました

新しい人生の門出を見守っていただければ幸いに存じます

今後とも末永くご指導のほどよろしくお願い申し上げます

○○○○ * ご本人の名前(郎)

○○○○ * ご本人の名前(婦)

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

媒酌人なし

親御様とご本人のお名前を出す文章です

* 差出人は親御様になります

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび ○○ 長男 ○○と ○○長女 ○○との

婚約相整い結婚式を挙げることになりました

つきましては 幾久しく ご懇情賜りたく

披露かたがた小宴を催したいと存じます

ご多用中誠に恐縮ではございますが

ご臨席の栄を賜りたく 謹んでご案内申し上げます 敬具

○○年○○月吉日

○○○○ * 親御様の名前(郎側)

○○○○ * 親御様の名前(婦側)

ご案内の通り私たちふたりは結婚することとなりました

おいそがしいところ恐縮ではございますが

ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます

○○○○ * ご本人の名前(郎)

○○○○ * ご本人の名前(婦)

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

連名 ご本人主体用

媒酌人あり

親御様とご本人のお名前で出す文章です

* 差出人はご本人様になります

謹啓 ○○の候 益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

このたび○○○○様ご夫妻のご媒酌により

私たちは結婚式を挙げることになりました

つきましては お世話になっている皆様をお招きして

心ばかりの祝宴をご用意いたしました

ぜひ ご出席くださいますよう ご案内申し上げます 敬具

○○年○○月吉日

○○○○*ご本人の名前(郎)

○○○○*ご本人の名前(婦)

ご多用のところ 大変恐縮ではございますが

若いふたりのためにお励ましをいただきたく

私どもからもよろしく願い申し上げます

○○○○*親御様の名前(郎側)

○○○○*親御様の名前(婦側)

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

媒酌人なし

親御様とご本人のお名前で出す文章です

* 差出人はご本人様になります

皆様にはご清祥のことと お慶び申し上げます

このたび 私たちは 結婚式を挙げることになりました

つきましては お世話になっている皆様をお招きして

心ばかりの祝宴をご用意いたしました

ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます 敬具

○○年○○月吉日

○○○○*ご本人の名前(郎)

○○○○*ご本人の名前(婦)

ご案内の通り私たちは結婚することとなりました

おいそがしいところ恐縮ではございますが

ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます

○○○○*親御様の名前(郎側)

○○○○*親御様の名前(婦側)

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

ご本人様用

媒酌人あり

*ご本人様のお名前を出す文章です

皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます
このたび ○○○様ご夫妻のご媒酌により
私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては 日頃お世話になっている皆様に
私たちの門出を見守っていただきたく
ささやかな小宴をもうけました
おいそがしい中まことに恐縮ですが
ぜひご出席くださいますよう ご案内申し上げます

○○年○○月吉日

○○○○

○○○○

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

媒酌人なし

*ご本人様のお名前を出す文章です

皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます
このたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては 親しい皆様の末永いお力添えをいただきたく
ささやかですが 小宴をもうけました
おいそがしい中と存じますが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます

○○年○○月吉日

○○○○

○○○○

日時 ○○年○○月○○日 (○曜日)午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

入籍済み用

ご本人様用 媒酌人なし【カジュアル】*ご本人様のお名前を出す文章です

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

私たちは〇〇年〇月〇日に入籍をし

新生活を始めております

そこで 日頃お世話になっております皆様に ご報告をかねまして

心ばかりの披露宴を 催したいと存じます

おいそがしい中 まことに恐縮ではございますが

ぜひお越しくださいますよう ご案内申し上げます

〇〇年〇〇月吉日

〇〇〇〇

〇〇〇〇

日時 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日)午後2時より(開宴)

場所 〇〇〇〇

なお、勝手ながら〇〇月〇〇日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

ご本人様用 媒酌人なし【フォーマル】*ご本人様のお名前を出す文章です

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

このたび 私たちは〇〇年〇月〇日に入籍をし

結婚式を挙げることになりました

つきましては 親しい皆様の末永いお力添えをいただきたく

ささやかですが 小宴をもうけました

おいそがしい中と存じますが

ご出席くださいますよう ご案内申し上げます

〇〇年〇〇月吉日

〇〇〇〇

〇〇〇〇

日時 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日)午後2時より(開宴)

場所 〇〇〇〇

なお、勝手ながら〇〇月〇〇日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

ご本人様主体用 媒酌人なし

*ご本人様と親御様のお名前を出す文章です

謹啓 〇〇の候 皆様には益々ご清祥のことと

お慶び申し上げます

このたび 私たちは

〇〇年〇月〇日に入籍を済ませ

結婚式を挙げることになりました

つきましては 披露かたがた心ばかりの小宴をご用意いたしました

ぜひご出席くださいますよう

ご案内申し上げます

敬具

〇〇〇〇*(郎)

〇〇〇〇*(婦)

ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが

ふたりのためにお励ましをいただきたく

私どもからもよろしくお願い申し上げます

〇〇〇〇*親御様(郎側)

〇〇〇〇*親御様(婦側)

〇〇年〇〇月吉日

〇〇〇〇

〇〇〇〇

日時 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日)午後2時より(開宴)

場所 〇〇〇〇

なお、勝手ながら〇〇月〇〇日までにご返事くださいますよう

お願い申し上げます

海外挙式用

媒酌人なし

*これから他所で結婚式を挙げる、
ご本人様のお名前を出す文章です

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます
このたび 私ども兩名は〇月〇日
〇〇〇〇〇〇〇〇において
結婚式を挙げることになりました
つきましては 帰国後にご報告とご挨拶をかねまして
心ばかりの小宴を催しますので
ご多用中とは存じますが ご来臨いただきますよう
ご案内申し上げます

〇〇年〇〇月 吉日

〇〇〇〇
〇〇〇〇

日時 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日)午後2時より(開宴)
場所 〇〇〇〇

なお、勝手ながら〇〇月〇〇日までにご返事くださいますようお願い申し上げます

媒酌人なし

*これから他所で結婚式を挙げる、
親御様のお名前を出す文章です

謹啓 〇〇の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

さて このたび 〇〇 長男 〇〇と 〇〇長女 〇〇
兩名は〇月〇日 〇〇〇〇〇〇〇〇において

結婚式を挙げ帰国後新生活に入ります
つきましては 日頃のご厚誼を感謝するとともに
今後ともご指導を賜りたく ささやかな小宴を催したいと存じます
ご多用中 誠に恐縮ではございますが
ご光臨の栄を賜りますよう
ご案内申し上げます 敬具

〇〇年〇〇月吉日

〇〇〇〇
〇〇〇〇

日時 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇曜日)午後2時より(開宴)
場所 〇〇〇〇

なお、勝手ながら〇〇月〇〇日までにご返事くださいますようお願い申し上げます

人前式用

媒酌人なし

* 親御様のお名前を出す文章です

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

さて このたび ○○長男 ○○と ○○長女 ○○との
婚約相整い結婚することになりました
つきましては 日頃お世話になっております皆様に
挙式の立会人となって見届けていただきたく
人前結婚式を行いたいと存じます

挙式後 心ばかりの小宴を催しますので
ご多用中誠に恐縮ではございますが
ご光臨の栄を賜りたく
謹んで ご案内申し上げます 敬具
○○年○○月吉日
○○○○
○○○○

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(人前式・開宴)
場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

媒酌人なし

* ご本人様のお名前を出す文章です

謹啓 ○○の候 皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

さて このたび 私どもの 婚約が整い
結婚式を挙げることになりました
日頃お世話になっております皆様のお立会いのもと
人前式を行いたく存じます

挙式後 心ばかりの小宴を催しますので
ご臨席賜りますよう ご案内申し上げます 敬具
○○年○○月吉日
○○○○
○○○○

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(人前式・開宴)
場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

出産後・ご本人様：会費制 用

媒酌人なし

* お子様がいらっしゃる、ご本人様のお名前を出す文章です。

謹啓 ○○の候 皆様にはますますご清祥のことと
お慶び申し上げます
このたび 私たちの結婚式を挙げることになりました
○年誕生しました○男(女) ○○の披露もかねまして
ささやかな小宴を催したいと存じます
ご多用中のところ誠に恐縮ではございますが
ぜひお越しくださいますよう ご案内申し上げます 敬具

○○年○○月吉日

○○○○

○○○○

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

媒酌人なし

* 会費制で行うパーティーでご本人様のお名前を出す文章です。

拝啓 ○○の候 皆様 いかがおすごでしょうか
さて このたび 私たちは結婚することになりました
つきましては 結婚のご報告をかねて
心ばかりの披露パーティーを催したく存じます
皆様に見守られ ご指導いただきながら
新しい人生のスタートができれば幸いです
ご多用中誠に恐縮ではございますが
ぜひご出席くださいますようご案内申し上げます
なお 当日は会費制とさせていただきますので
ご祝儀などのお心遣いはなされませんようくれぐれも
お願い申し上げます 敬具

○○年○月吉日

○○○○

○○○○

記

日時 ○○年○○月○○日(○曜日) 午後2時より(開宴)

場所 ○○○○

会費 ○○○○円

なお、勝手ながら○○月○○日までにご返事くださいますよう
お願い申し上げます

各種付箋(フセン)

挙式のご案内

ご多用中恐縮に存じますが
当日 挙式にもご列席賜りたく
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

バスのご案内

当日は□□□(場所名)より
バスをご用意致しておりますので
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

披露宴のご案内

ご多用中恐縮に存じますが
当日 披露宴にご列席賜りたく
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

乾杯のご発声

誠に恐れ入りますが
当日 披露宴で
乾杯のご発声を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます

祝辞(スピーチ)

誠に恐れ入りますが
当日 披露宴で
一言お言葉を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます

ご親族紹介

ご多用中恐縮に存じますが
当日 親族紹介を行いますので
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

余興

誠に恐れ入りますが
当日 披露宴での余興を
よろしくお願い申し上げます

受付のご案内

誠に恐れ入りますが
当日 受付をお願い致したく
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

集合写真のご案内

ご多用中恐縮に存じますが
当日集合写真撮影を行いますので
午前(午後)〇時〇〇分までに
お越しくださいますよう
お願い申し上げます

時候のあいさつ

結婚式の招待状には挙式日ではなく、招待状を「発送する月」の時候のあいさつをご記入ください。

1月

初春の候 ・ 新春の候 ・ 迎春の候 ・ 嚴冬の候
降雪の候 ・ 冷雨の候 ・ 仲冬の候

2月

立春の候 ・ 春寒の候 ・ 向春の候 ・ 春雪の候
晩冬の候 ・ 梅花の候 ・ 紅梅の候

3月

早春の候 ・ 春分の候 ・ 春風の候 ・ 春色の候
春陽の候 ・ 麗日の候 ・ 仲春の候

4月

春暖の候 ・ 春風の候 ・ 春粧の候 ・ 春眠の候
陽春の候 ・ 麗春の候 ・ 桜花の候

5月

新緑の候 ・ 藤花の候 ・ 葉桜の候 ・ 陽光の候
万葉の候 ・ 青葉の候 ・ 若葉の候

6月

初夏の候 ・ 向暑の候 ・ 入梅の候 ・ 梅雨の候
長雨の候 ・ 小夏の候 ・ 立夏の候

7月

盛夏の候 ・ 大暑の候 ・ 仲夏の候 ・ 烈暑の候
炎暑の候 ・ 嚴暑の候 ・ 極暑の候

8月

晩夏の候 ・ 暮夏の候 ・ 暁夏の候 ・ 立秋の候
残暑の候 ・ 残夏の候 ・ 納涼の候

9月

初秋の候 ・ 新秋の候 ・ 爽秋の候 ・ 秋色の候
秋分の候 ・ 秋霜の候 ・ 涼風の候

10月

仲秋の候 ・ 秋晴の候 ・ 秋涼の候 ・ 秋麗の候
秋月の候 ・ 清秋の候 ・ 紅葉の候

11月

錦秋の候 ・ 暮秋の候 ・ 季秋の候 ・ 霜秋の候
深秋の候 ・ 菊花の候 ・ 立冬の候

12月

初冬の候 ・ 霜夜の候 ・ 極月の候 ・ 歳晩の候
明冷の候 ・ 霜寒の候 ・ 新雪の候

結婚報告のハガキ

結婚報告ハガキは 親戚や友人・会社の上司や同僚等 これまで
お世話になった方へ改めて結婚を報告するだけでなく
今後も末永いお付き合いをお願いする意味も含まれます。

新しい住所や名字をお知らせする良い機会にもなるので
ぜひハガキを出しましょう。

また、結婚内祝いを送るという方は、お礼状を兼ねて結婚報告はがきを
添えてるのもお勧めです。

結婚報告はがきは 入籍・結婚式後の1～2ヶ月以内に出すのが
基本的なマナーと言われていますが 実際は結婚式やスタジオで撮った
写真を使う場合も多く プロの写真データの出来上がりを待ってから
出すという方も多いようです。

何かといそがしくてタイミングがずれてしまった！という方は、暑中お見舞いや
寒中お見舞い・年賀状など 季節のご挨拶とともに結婚報告を添えることで
改めて送るよりも自然な感じで報告できます。

結婚報告ハガキの文例

一般的なご挨拶

<1>

私たち〇〇月〇〇日に結婚しました
これからふたり仲良く力を合わせて
温かい楽しい家庭を築きたいと思えます
今後ともどうぞよろしく願いいたします
なお、お近くにお越しの際は
ぜひお立ち寄りください
(以下、日付・新住所・電話番号・名前・メールアドレス等)

<2>

拝啓 〇〇の候 皆様にはお変わりなくお過ごしのことと
存じます
このたび私たちは 〇〇月〇〇日 〇〇〇〇において
結婚式を挙げました
今後はふたりで力を合わせて幸せな家庭を築いて
まいります 未熟な者でございますので どうかよろしく
お願い申し上げます
お近くにお越しの際は ぜひお立ち寄りください
お待ちしております
(以下、日付・新住所・電話番号・名前・メールアドレス等)

入籍のみのご挨拶

私たち〇〇月〇〇日に入籍いたしました
挙式・披露宴は執り行わないため
直接ご挨拶ができないこと深くお詫び申し上げます
まだまだ未熟な私たちですが
今後ともどうぞよろしく願い申し上げます
(以下、日付・新住所・電話番号・名前・メールアドレス等)

年賀状を兼ねたご挨拶

あけましておめでとうございます
私たちは昨年〇月〇日に結婚し
ふたりで迎える初めての新年となりました
本年もどうぞよろしく願い申し上げます
(以下、日付・新住所・電話番号・名前・メールアドレス等)

結婚式のお礼を兼ねたご挨拶

先日は 私たちの結婚式にお越しいただき
ありがとうございました
皆さまの温かい祝福をいつまでも忘れずに
ふたりで幸せな家庭を築いてまいります
今後とも どうぞよろしく願い申し上げます
(以下、日付・新住所・電話番号・名前・メールアドレス等)

内祝い

内祝いとは、本来、「内＝家」でおめでたいことがあった時に、自分たちの喜びを親しい人と宴席を設けて分かち合い、手土産を手渡した風習(お赤飯やかつお節)を指します。

しかし、現在では内祝いはお祝いをいただいたことへのお返し、という認識が一般的になりつつあります。

お祝いしてくれた方々へ、心からの「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて贈りましょう。

「内祝い」は、挙式後の1カ月以内に、お祝いをくださった方のお宅に直接持参をするか、宅配便などでお届けするのが増えつつあります。

訪問するとなると、もてなしの準備等、かえって先方に気を遣わせてしまうこともあります。

相手との関係によっては配送の手段がよい場合もあります。

また、結婚式のかなり前にお祝いをいただいた場合は、挙式後早めにお祝いのお礼の品を送りましょう。

内祝いを贈る時期にはそれぞれ適切な時期がありますが、基本は「遅くならないこと」です。

また、体調によっては、すぐにお礼状を書いたり、贈り物を手配することが難しい場合がありますが、その際は、いただいて数日以内に、電話で直接お礼の気持ちを伝えましょう。(メールは正式ではないので、さげましょう)。

結婚内祝いに添えるメッセージにいれるべき3つのポイントに気を付けましょう。

◆お祝いへのお礼と感謝

大切なのは、祝ってくれたことへの感謝の気持ちを伝えることです。お祝いの品を頂いた場合は、その品を気に入ったことや喜んでいいることを書き添えると、より丁寧な印象になります。

◆近況や将来の抱負

幸せな家庭を作っていく、という気持ちを綴ります。

長々と書く必要はありませんが、「笑い声のある家庭」など、短くてもオリジナリティがあると伝わりやすいでしょう。

◆今後ともよろしくお願い致しますの挨拶

相手が親しい友人や兄弟姉妹だとしても、くだけすぎないように、礼儀をわきまえた挨拶にしましょう。

新居へ誘う言葉を添えるのも良いでしょう。

内祝いのメッセージ

目上の親戚や職場の上司などへのお礼状

<例文1>

拝啓 ○○の候 皆様におかれましてはお健やかに
お過ごしのこととお慶び申し上げます
この度は私たちの結婚に際しまして お心のこもったお祝いの品を
賜りまして熱くお礼申し上げます
おかげさまで 私たちもめでたく
新たな人生の第一歩を踏み出しました
頂きました○○はさっそく使わせていただいており
とても素敵で気に入っています
今度はふたりで力を合わせて 幸せな家庭を築いていく所存です
どうか温かくご指導くださいますようお願い申し上げます 敬具

<例文2>

拝啓 ○○の候、皆様お変わりなくお過ごしのこと
とお慶び申し上げます
日頃は色々とお世話になりありがとうございます
この度は私どもの結婚に際し
過分なお祝いを賜りありがとうございます
新居に落ち着いて○週間
ようやく毎日の生活にも慣れ始めたところです
頂戴しましたお心遣いで 憧れだった○○を購入しました
新生活で早速役立っております
新生活は始まったばかりですが
ふたりで力を合わせて
お互いに思いやりと感謝の気持ちをわすれず
助け合いながら頑張っていきたいと思っております
今後ともよろしくご指導ご鞭撻くださいますよう
お願い申し上げます 敬具

友人へのお礼状

<例文1>

みんなに祝福してもらい最高に幸せな楽しい一日でした
これからは 夫婦ともどもよろしく願います

<例文2>

素敵な結婚祝い 本当にありがとう
さっそく使わせてもらって 大変重宝しています
また 新居にも気軽に遊びに来てね

共通

<例文1>

拝啓 ○○の候 ○○様(さん)にはお元気で過ごしのことと存じます
先日はお心のこもったお祝いの品をいただき ありがとうございます
結婚の記念としてずっと大切にしていこうとふたりで話をしております
まだまだ未熟なふたりですが 力を合わせて温かい家庭を築いて
いこうと思います これからもよろしく願い申し上げます 敬具

<例文2>

さて 先日は私たちの結婚に際し お祝いをいただき
誠にありがとうございます
○○様をはじめ みなさまからの祝福をいただき
とても幸せな新生活のスタートを迎えております
この気持ちをいつもわすれず
温かい家庭を築くよう努力していく所存です
まだまだ未熟な私たちですが
今後ともどうぞよろしく願い申し上げます
なお 心ばかりの品をお送りいたしましたので
お納めくださいませ
まずは書中をもちまして お礼申し上げます